

## 「夏の研究奨励キャンペーン」の研究成果報告

藤野, 清次  
九州大学情報基盤センター : 副センター長

<https://doi.org/10.15017/1495399>

---

出版情報 : 九州大学情報基盤センター広報 : 全国共同利用版. 5 (3), pp.135-135, 2006-02. 九州大学  
情報基盤センター広報  
バージョン :  
権利関係 :

## 「夏の研究奨励キャンペーン」の研究成果報告

九州大学情報基盤センター 副センター長  
藤野清次

九州大学情報基盤センターでは、2005年4月に高性能演算サーバ:IBM eServer p5 モデル 595 (1.9GHz, 416CPU)を導入致しました。その後、研究者の皆様方に高性能演算サーバを活発に利用して頂いております。また大学院の若い学生の皆様にも、「夏休み期間中、情報基盤センターの高性能演算サーバを思う存分使ってもらい、よい研究成果を上げてもらおう」との趣旨から、標記の「夏の研究奨励キャンペーン」を企画し7月下旬公募をいたしました。全部で7件の応募と数件の問い合わせがありました。その後、提出された研究計画書に基づき情報基盤センターで審査しました結果、7件全部が採択され、高性能演算サーバを1ヶ月間無料で使って頂きました。そして9月30日(金)に開催しました「計算科学事例フォーラム」(写真参照)で研究成果を発表して頂きました。



当日は各発表に対して活発な質疑応答がなされ、また十分な研究成果が各々の研究において上がっていると確信できました。また、本誌にも以下の研究成果報告を掲載させて頂くことができました。

1. 「ab initio 計算による EDTA キレート化合物の研究」  
九州大学大学院総合理工学府修士課程2年 安島英孝
2. 「衛星搭載型レーダ高度計シミュレータを用いた海洋波周期推定法の検討」  
九州大学大学院システム情報科学府修士課程2年 福田多伸
3. 「離散渦法による球周りの流れについて」  
九州大学大学院工学府博士課程2年 李聖旭
4. 「断層周辺における地震波動伝播シミュレーション」  
九州大学大学院理学府博士課程3年 中村武史
5. 「フラグメント分子軌道法による化学物質・核内受容体タンパク質複合体の安定化エネルギーの算出: 内分泌攪乱化学物質リスク評価の精鋭化に向けて」  
九州大学大学院理学府修士課程1年 岡田浩幸
6. 「Methanol Decomposition Pathway through Electro-oxidation by Platinum」  
九州大学大学院工学府博士課程2年 Lorene L. Abella
7. 「黄河流域の水利用・管理の高持続性化」  
九州大学大学院工学府修士課程1年 与賀田隆史

「夏の研究奨励キャンペーン」が好評のうちに終了したことを受けて、2006年3月頃「春の研究奨励キャンペーン」の実施を検討しております。今後も本情報基盤センターの諸活動に皆様方の暖かいご支援ならびにご協力を切にお願い申し上げます。